

無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス)の解消に向けて

男女がともに活躍できる社会へ

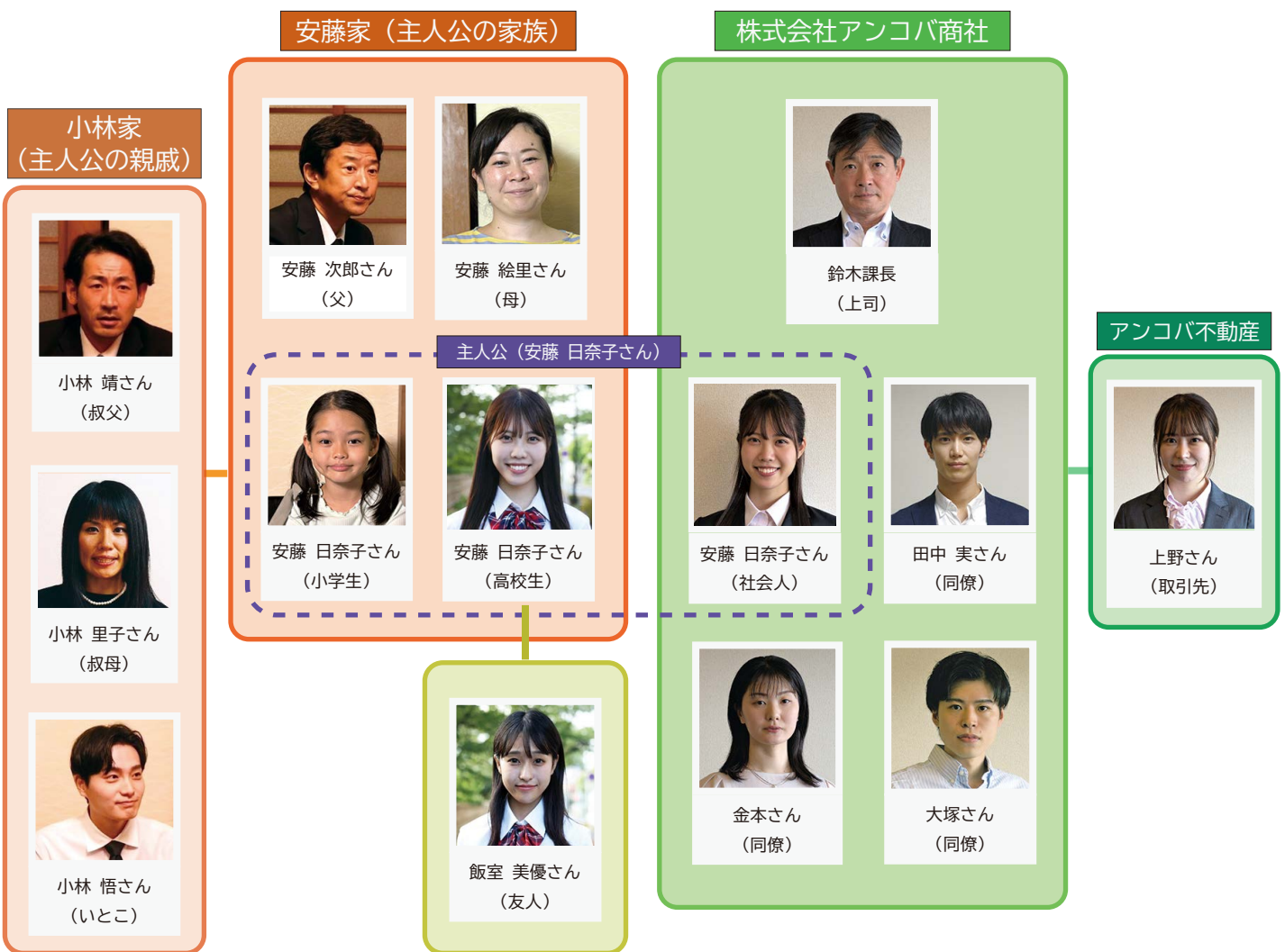


無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)とは

自分自身は気づいていない「ものの見方やとらえ方のゆがみや偏り」をいいます。自分自身では意識しづらく、ゆがみや偏りがあるとは認識していないため、「無意識の偏見」と呼ばれます。

組織における人事管理、業務管理を行う立場にある方は、組織や組織の構成員(職員、社員)の家庭、ひいては社会全体に与える影響が大きいことから、性別による無意識の思い込みに気づき、これを解消していく必要性が特に高いと考えられます。

動画教材 登場人物紹介



内閣府 男女共同参画局
<https://www.gender.go.jp/>

令和4年度 性別による無意識の思い込み
(アンコンシャス・バイアス)に関する調査研究
https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/seibetsu_r04.html



男女がともに活躍できる社会へ



令和3年度 性別による無意識の思い込み
(アンコンシャス・バイアス)に関する調査研究
https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/seibetsu_r03.html

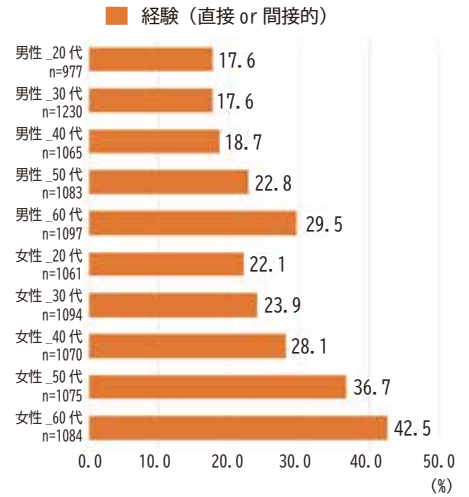


動画教材で取り上げたアンコンシャス・バイアスのテーマとポイント

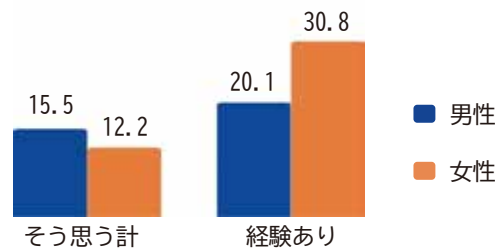
女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い



- 体験談** 母親が専業主婦なので、父親のようなお金に余裕のあるパートナーを見つけると今の生活ができると言われた。
- 体験談** 高校生のときに友人と将来の話をしているとき、女性は就職しても賃金が低いからいずれは結婚しなければならない、という話になった。
- ポイント** 直接言われたあるいは言動や態度から感じた「経験」は、男性より女性の方が多く、女性50-60代で特に多い。

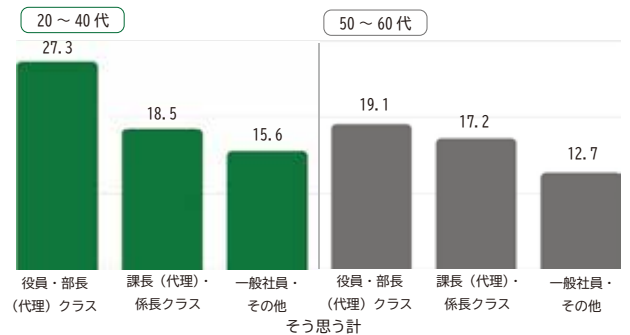


女性には高い学歴やキャリアは必要ない／職場では、女性は男性のサポートにまわるべきだ



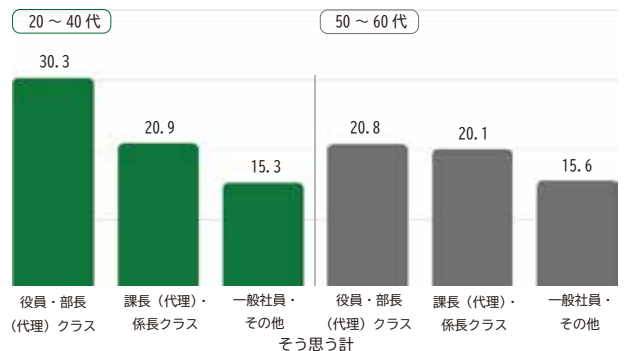
- 体験談** 「女性は結婚して出産するのだから、大学に行かなくても良い」と親や親戚から言われた。
- ポイント** 女性の約3割が、サポートにまわるべきだという思い込みを決めつけられた経験がある。

同程度の実力なら、まず男性から昇進させたり管理職に登用するものだ



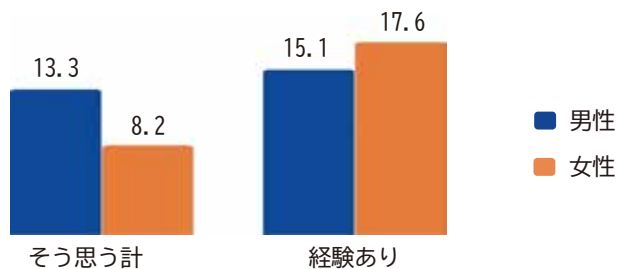
- 体験談** 就職の際、「成績の良い女性より、成績が劣っていてもいいから男性を採用したい」と言われた。
- 体験談** 自分のことではないが、女性で仕事の中心に立っている人を見て、「女性なのにすごい」という発言をする人がいた。それは女性に対する差別であるし、同じ仕事をしている男性を「当たり前」としている差別でもあると思った。
- ポイント** 一般社員よりも、評価者である役職者の方が、男性から昇進させたり管理職に登用するものだと思う傾向がある。

女性の上司には抵抗がある／女性は感情的になりやすい



- 体験談** 「女性の役席者とは仕事をしたくない」と男性上司に言われた。
- ポイント** 20代~40代の若手役職者で、抵抗があると思う人は2~3割存在する。

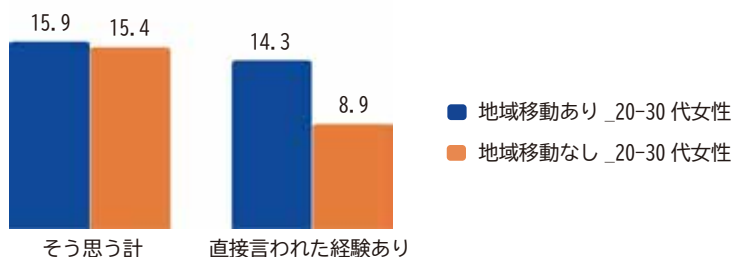
女性社員の昇格や管理職への登用のための教育・訓練は必要ない



体験談 女性は結婚・妊娠の可能性があるからと、仕事に有利になる研修会を受けさせてもらえなかった。

ポイント 女性の約2割が教育・訓練は必要ないという思い込みの決めつけを受けている。

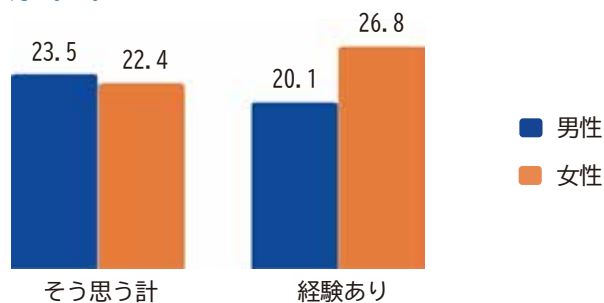
親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ



体験談 葬式や法事などで地元に戻ると、男性は食べて飲むだけだが、若い女性は自分から仕事を見つけて動くくらいの積極性や気配りを、親戚から求められる。食事の準備や片付けが嫌いなわけではないが、年配の叔母などからの同調圧力にイライラする。

ポイント 地元を離れた女性が、女性の役割だと直接言われた経験は、地元にとどまった女性よりも多い。母親や親戚からそのように言われることが多い。

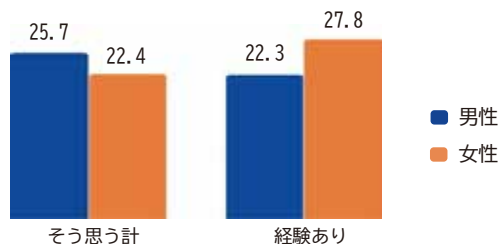
大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい



体験談 「対外的な折衝は男性が向いているので、担当してください」と女性職員から言われた。

ポイント 男性も女性も同じ程度そう思っている。

組織のリーダーは男性の方が向いている



体験談 グループの代表を決めるときに、「男性だから引き受けるべき」という意見が多かった。

体験談 会社の代表者は男性だと思って、それを前提に話を進めようとする。

ポイント 男性も女性も同じ程度そう思っている。

※そう思う計 性別役割について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計

経験あり 性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験について、「直接言われたり聞いたりしたことがある」または「直接ではないが言動や態度からそのように感じたことがある」